

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（8月）

留学先：Clemson University

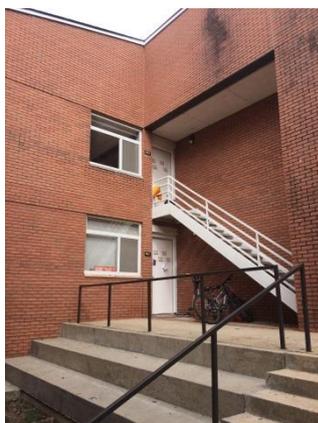
氏名： 黒川晶平

【はじめに】

みなさん初めまして。本年度、アメリカ・サウスカロライナ州・クレムソン大学(Clemson University)への交換留学生に選ばれました、黒川晶平と申します。教育地域科学部学校教育課程・言語教育コース・英語教育サブコースの4年生です。8月から来年5月にかけて約10か月間、現地の授業を受けながら自身の英語力向上と教養の幅を広げることに努めていきます。

毎月の報告書を通して、こちらの大学生活の中で自分が学んでいることや印象に残った体験などをみなさんに紹介していきたいと思います。今回は、留学が始まってはじめての1か月を写真とともに振り返っていきます。

【The Beginning of New Life】



長期留学を始めるにあたって、意気揚々と成田空港から飛行機に乗り込みアメリカへ出発したのですが、思いがけないトラブルの連続でとても大変な思いをしました。ワシントン経由でサウスカロライナに向かう予定だったのですが、飛行機の機材トラブルにより2時間以上待たされた挙句、便がキャンセルされてしまいました。仕方なくワシントンからアトランタ経由で向かう便を再予約したのですが、変更した便もまた遅延を余儀なくされたために最終便を逃し、その日じゅうに大学に到着することができませんでした。結局アトランタで一泊し、次の日の午後一日遅れで入寮しました。僕自身何度も海外へ行った経験はありますが、こんなにもひどいフライトトラブルを初めてのことで、一日目からとても滅入ってしまいました。

しかし、到着してすぐに新しい友達が僕を温かく迎えてくれました。僕の住む寮は交換留学生と正規の学生が混ざるような形で構成されており、4人で共同生活をします。僕の

ルームメイトは、同じく交換留学生のフランス人と工学部専攻の地元出身のアメリカ人2人です。彼らのとても友好的な人柄のおかげで、毎日のように冗談を言い合いながら楽しく過ごすことができています。特にアメリカ人2人は寮生活も長く、基本的な家具の他にテレビや食器、ゲーム機に至るまで色々なものをシェアしてくれます。以前彼らが一緒に生活していた日本人学生の影響もあって、箸や炊飯器などもありました！

【Various Friends & Events】



大学に到着して最初の3日間は交換留学生向けのオリエンテーションがありました。クレムソンに来ている学生は国際色豊かだと聞いていましたが、まさにその通りでした。秋学期の交換プログラムの学生は全体で60人以上いるうちの半分以上がヨーロッパ各国から来ており、20人以上がドイツ人です。他はフランス、オランダ、ブラジル、オーストラリアといったように、提携している大学の多様さクレムソンの規模の大きさがうかがえました。日本人は僕も含めて6人で、シンガポールから来ている学生1人と含めて7人というアジア人の少なさです。キャンパス内においては正規で留学している中国人の学生を何人か見かけるとはいえ、ここではアジア人は圧倒的なマイノリティだと感じています。しかし、ほとんどが同じ寮に住んでいることもあって、国籍や学年などの枠を超えてお互い打ち解けることができました。陽気な友達が多く、週末になると彼らと一緒にパーティに出かけています。

またこの1か月で様々なイベントがありました。特にアメリカンフットボールの開幕の時は、学校の盛り上がりが凄まじく、試合前日から広大なキャンパスはチームカラーのオレンジ色のシャツを着た学生で溢れかえっていました。僕も友達とスタジアムに足を運び試合を観戦しましたが、5万人が一斉に応援するスケールの大きさに非常に感動しました。

報告したいことはまだまだありますが、今月はこのくらいにしておきます。来月は僕が今学期受けている授業を中心に紹介したいと思います。